

令和3年度 上田市立真田中学校 学校自己評価（中間報告）

学校教育目標	めざす子どもの姿	総合評価
<かりがね精神> ・磨き合う知性 ・感じ合う心 ・鍛え合う身体 ・見つめ合う命	・自ら意欲的に学ぶ生徒 ・豊かな心を育む生徒 ・進んで身体を鍛える生徒 ・命を大切にする生徒	- 最終評価（3学期）に記述 -

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった

領域	評価項目 今年度の 重点目標	評価の観点	成果と課題	評価（％）				改善策・向上策
				A	B	C	D	
教 育 活 動	自分の考え をもち 主体的に学 ぶ授業	子どもと共に学習課題を据え、提示しているか。	○ 子どもと共に課題設定することが多くできた。 △ 生徒と共に課題設定することが難しい場合には教師側で設定することもあった。	23	59	12	6	・ 子どもたちが適切な学習課題を設定できるよう、教材や題材の研究を深め、問題提示を工夫していきたい。
		話し合いや発表など、自分の考えを伝え合い、学び合う場を設定しているか。	○ 目当ての明確化や話し合い活動・振り返りの場を毎時間設定できた。 ○ <b>Chromebook</b> やデジタル教科書を使った授業展開を考え実践することで、授業のUD化や改善につなげることができた。 △ 話し合いの質を高めていきたい。	17	36	36	12	・ 話し合いの目的を明確にして、学び合う姿勢を育てたい。 ・ 話し合いへの必要感がわく課題設定や、深まりのある話し合いができるよう仕組んでいく。 ・ 思考ツールを活用して、話し合いスキルを向上させていく。
		授業の振り返り（自己評価・相互評価）の場を設けているか。	○ 授業の最後に振り返りの時間をとり、生徒が「分かった」「できた」という自覚できるようにしてきた。 ○ <b>Chromebook</b> を活用することで授業内で多くの生徒の振り返りを共有できた。 △ つけたい力をもっと生徒に意識させていきたい。	44	25	19	12	・ 授業では「つけたい力」を明示し、振り返りの場面で自己評価ができるようにしていく。 ・ <b>Chromebook</b> の機能を活用し、1時間ごとの評価を蓄積して、自己の伸びを自覚できるようにしていく。
		家庭学習に生徒が主体的に取り組めるよう指導しているか。	○ 同じ課題の継続だけでなく授業の予習・復習や他の学習方法を紹介したり、生徒自身が工夫して始めた方法にアドバイス等をして主体性を伸ばしてきている。 △ 自分が考えた工夫を友と共有し、互いに高め合う情報交換ができるとよかった。	0	35	35	30	・ 優れた学習をしている生徒の工夫を、さまざまな形で紹介し合えるようにしていく。 ・ 家庭学習と授業との繋がりをもたせて、家庭学習の必要性を実感させていく。
	伝え合い、 認め合い、 高め合う 集団づくり	互いの違いを認め合い、自他共に大切にできる生徒や集団を育成しているか。	○ 子どものよさを認め、評価していることを伝えてきている。 △ 子ども同士がお互いの良さに気づき合えるような場面をもっと取りたい。	22	61	6	11	・ 道徳やエンカウンター、SSTを大切にしたい。 ・ 人権に関する授業（11月予定）で生徒の人権感覚や他を大切にする姿勢をさらに育てたい。 ・ 互いの良い所を認め合う場面を設定する。
		他人の意見を真剣に聞ける生徒や学習集団を育成しているか。	○ 友の発言には耳を傾けるよう指導している。 △ 相手に聞こえる声量で話すことを子どもに意識させる。	6	72	17	5	・ 話し合いのスキル向上を図る。（話し合いのルールの掲示など） ・ 小集団での話し合いの成果を、全体に伝え深める場面での効率的な進め方を研究したい。
		集団の一員として、自主的・自律的な行動がとれる生徒を育成しているか。	○ 生徒会では、自主的に活動できる状況を作り、生徒が意欲的に活動する姿が多く見られた。 ○ 役割分担を明確にすることで、それを自主的な行動ができるようになってきている。 △ 主体的に状況を判断して行動できる力を伸ばしたい。	6	50	39	5	・ 自主的・自律的に動ける場面を明確にし、どう動くかについて考え合うことを大切にしたい。 ・ 学級の問題を解決していく手立てを生徒たちが考えていく場面を設定していく。 ・ 生徒会や学級活動においても、振り返りの場面を設定する。
		個に応じた、望ましい生活習慣が身につくよう指導しているか。	○ 生徒会の活動が良い生活習慣を導き、多くの生徒が生活習慣の大切さを認識し行動できている。 △ 望ましい生活習慣を身につけるには、さらに継続した指導が必要な生徒がいる。	11	67	22	0	・ 今後も生徒会の活動を支援するとともに、教師も教育相談等の機会や日常の声かけをしたい。 ・ 課題をもつ生徒には、その良さを認めるとともに、さらなる向上のため粘り強く相談や指導をしたい。
	家庭や地域 と連携した 学びの場の 創造 運	保護者と願いを共有した学校づくりに努めているか。	○ 学校通信や学年通信・学級通信を発行し、保護者への連絡や学校生活の様子を発信することができた。 △ 保護者の願いは共有できているものの、願いに向かってゆっくりと進めていく状況もあり難しさを感じた。	11	62	16	11	・ 保護者への無記名アンケート（11月実施予定）を参考に、更に保護者の願いを把握し、保護者の願いに沿った学校づくりを進めたい。 ・ 保護者との願いの共有を、複数の職員で支え、推進していく大切をさらに築きたい。
		地域と連携し、生徒に地域愛や地域活動力が育つよう努めているか。	○ 2年生の総合的な学習では、地域の農家さんに講師となって指導していただいた。 ○ 学校運営委員会を立ち上げて、連携のペースを築きつつある。 △ 地域ボランティアとPTAとの接点を設けられていない。	12	29	41	18	・ 学校運営委員会の組織や目的について学校だよりで保護者に知らせていく。 ・ 新型コロナウイルスの流行に留意しながらボランティア活動などのへの参加を判断したい。 ・ 感染予防に配慮しながら、地域と連携し活動できる方法を工夫したい。
		地域に開かれ、地域に信頼される学校づくりに努めているか。	○ 学校だよりを通して地域への情報発信ができた。	12	44	33	11	・ 新型コロナウイルスの流行に留意しながら、地域に開かれた活動や学校づくりなどの事業を進めたい。
		小学校と連携した教育を進めているか。	○ 小中連携で数学科教師が小学校へ行き6年生の授業指導を行っている。	11	22	39	28	・ 安心して入学し、健やかな学校生活のスタートを実現するため、本年度も『体験授業』や『小中連絡会』を実施していきたい。 ・ 小中9年間を見通した地域連携・小中連携を考えていきたい。